

食品に関するリスクコミュニケーション～輸入食品の安全確保及びBSE対策について～
 (平成19年1月15日開催：東京都新宿区)
アンケート集計結果

参加人数 181名
 アンケート回答者数 121名 回答率 66.9%

Q1 ご自身について、ご回答ください。		
1 性別		
1 男性	92	(76.0%)
2 女性	24	(19.8%)
2 年齢		
1 ～19歳	0	(0.0%)
2 20歳代	12	(9.9%)
3 30歳代	23	(19.0%)
4 40歳代	37	(30.6%)
5 50歳代	32	(26.5%)
6 60歳代	12	(9.9%)
7 70歳～	0	(0.0%)
3 ご所属		
1 消費者(団体を含む)	15	(12.4%)
2 生産者	0	(0.0%)
3 製造・加工業	21	(17.4%)
4 流通・販売業	28	(23.1%)
5 報道関係者	1	(0.8%)
6 行政関係(独法含む)	34	(28.1%)
9 その他	16	(13.2%)
4 本日参加された目的		
1 食品の安全性の問題に関心があるため	59	(48.8%)
2① 輸入食品の安全対策について知るため	76	(62.8%)
2② 米国産牛肉問題に関する最近の状況について知るため	60	(49.6%)
2③ BSE国内対策の最近の状況について知るため	53	(43.8%)
3 パネリストや参加者の意見を聴くため	44	(36.4%)
4 意見・要望を述べるため	2	(1.7%)
5 その他	1	(0.8%)

Q2 演者からの説明についてお伺いします。説明内容について、十分に理解することができましたか		
1 できた	31	(25.6%)
2 おおむねできた	73	(60.3%)
3 あまりできなかった	10	(8.3%)
4 できなかった	1	(0.8%)
SQ1 十分に理解することができなかった内容は次のどれですか。(当てはまるものを全て)		
1 平成19年度輸入食品監視指導計画案	5	
2 米国産牛肉への対応状況	6	
3 BSE国内対策(と畜場、食肉処理関係)に関する最近の状況	7	
SQ2 十分に理解することができなかった理由は次のどれですか。(当てはまるものを全て)		
1 用語など内容が理解しにくい。	2	
2 説明資料が見にくい。	3	
3 説明が聞き取りにくい。	4	
4 自分が理解していることとは異なる説明である。	1	
5 その他	0	

Q3 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。意見交換は分かりやすく、議論の内容等について理解できましたか?		
1 できた	23	(19.0%)
2 おおむねできた	70	(57.9%)
3 あまりできなかった	11	(9.1%)
4 できなかった	0	(0.0%)
SQ1 十分に理解することができなかったテーマは次のどれですか(当てはまるものを全て)		
1 輸入食品の安全対策(輸入食品監視指導計画案)	1	
2 BSE対策(米国産牛肉への対応状況、BSE国内対策(と畜場、食肉処理関係))	9	
SQ2 十分に理解することができなかった理由は何ですか(当てはまるものを全て)		
1 用語など発言の内容が理解しにくい。	4	
2 発言が聞き取りにくい。	5	
3 その他	0	

Q4 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。パネルディスカッション・意見交換において、自分とは異なる見解の発言はありましたか?		
1 あった	52	(43.0%)
2 なかった	38	(31.4%)
SQ1 異なる見解の発言の趣旨は理解することができましたか。		
1 できた	10	
2 おおむねできた	26	
2 あまりできなかった	10	
2 できなかった	6	
SQ2 発言の趣旨が十分に理解することができなかった理由は何ですか。		
1 そのような見解に立つことが信じられない。	3	
2 そのような見解に立つ理由が述べられていなかった。	9	
3 その他	0	

Q5 本日のリスクコミュニケーションの進め方についてお尋ねします。

1)良かったと思う点

【消費者】

前半テーマについての説明は、私など消費者にとってもわかりやすかった。BSEの発生、牛の生まれ月などグラフ、表などがわかりやすかった。鳥インフルエンザについて報告があったのがとてもタイムリーでよかった。

パネリストの選定

資料が用意されていて理解が進んだ。

パネルディスカッションの進行。ただし回答は一辺倒で、日本語ではない感じです。

米国産牛肉の混載事例についてコメントがあったこと。

【製造・加工業】

ポイントをついた説明がなされていた。

諸外国と比べ、日本の方針は比較的安全性に拠った体制にあることが確認できる。

テーマがタイムリーで、説明内容の組み立てもわかりやすかった。

資料が豊富なこと。鳥インフルエンザ情報がタイムリーだった

説明が分かりやすかった。

ニッスイの品質保証室長の話が聞けた。

鳥インフルエンザを取り上げたことはタイムリーでよい

配布資料は見やすい

時間重視で良かったと思います。

【流通・販売業】

バランスの良いパネリストの意見が多かった。

平易で分かりやすかった。

リスクコミュニケーションの目的がわからない。誰のための何のためのリスクなのか？

BSEに関する政府の見解の現状がよくわかった。質問への回答が的確であった。

わかりやすかった

色々な見解があり、参考になりました。

【行政関係】

スライドが大変みやすくわかりやすかった。

テーマについての説明はいずれの演者も用意した資料に忠実に沿って説明しているためわかりやすい。

【その他】

宮崎の鳥インフルエンザの話題はタイムリーでよかった。ノロウイルスについても若干触れて欲しかった。

パネルディスカッションと会場からの意見を取り入れているところ。

流れについてよくわかる資料づくりがなされていた。

分かり易い説明で良かった

国の施策を知ることができた。

進行が分かりやすく理解しやすかった。

いつもに比べて限られた内容にはなってしまうが、テーマ毎に整理されていた。

パネルディスカッションの方法はよいと思った。

2)改善すべきと思う点

【消費者】

発表はもう少しメリハリがあると興味を持って聴けると思います。

3つのテーマは欲張りすぎ

ディスカッションの時間が少ない

資料説明の対象者は誰かというところをはっきりさせてほしい。PPの資料の棒読みで何を誰に発信しているのかわかりません。

HPですでに公表されている情報で、それ以外の新しいものがない。会場まで足を運ぶ必要があるのか？

時間配分を考えて進めて欲しい

【製造・加工業】

報道のフラッシュがまぶしく見づらかった。

既にHP等に出ている情報は省略してよりタイムリーな情報の提供を願いたい。

もう少し画面を大きく

スピードが速く聞きづらい

具体的な数値や方針に基づいた見解が少ない。総花的になっている。

パネルディスカッションの運営がもどかしさを感じる。パネラーの選定にも疑問。識見・市民感覚。

時間配分を考慮すべき。事前の質問とはどんなものであるか、資料なり説明するなり明確にしてほしい

説明時間がやや短い。午後1時の開始時間を1時30分か2時にしたい。昼食をゆっくり食べることが難しい。

パネルディスカッションをもっと深くやって欲しい。

テーマの説明(2)(3)は長いだけで要点が明確になってない。事前準備、時間配分がなってない

輸入食品とBSEは別々に実施すべき。ポジティブリスト施行は食品関連事業者にとっては大きな問題であり、具体的に相手国に対する対応等を説明してほしい。

時間がおしてしまい、鳥インフルエンザの内容が希薄となった。時間的配慮をもっと行い説明すべきであった。

マスコミ報道に対して言及が全くなかった。問題のない事柄を「リスク」「ハザード」と誤認されている王因はマスコミ報道にあると思うので、このような場で題材として取り上げ誤解を解いていくべきではないかと考える。ニュージーランドやEUのようなマスコミの誤報道には毅然とした態度を参考にしていきたい。

具体的な事例の説明がもっとほしい

【流通・販売業】

メキシコ、中国、チリ産の牛肉は食品安全委員会で評価すべきだ。メキシコ産などの牛肉は全箱検査はもちろん、原産地国表示もレストランでされていない。

農水省の意見があいまいで役に立たないと思った。

会場とのQ&Aの時間が短い。レジュメ説明は短くていい。
時間を守って欲しい
タイムプランが悪い。テーマの設定。輸入食品とBSE対策は別にやるべき
ホットな話題の鳥インフルエンザの説明が短すぎ。もう少し時間をかけて詳しく説明してもらいたかった。
全体的に時間が短い。

【行政関係】

テーマについての説明はある程度必要だが、意見交換の時間がテーマ説明で削られるのがもったいない。
会場からの意見の時間が少なすぎる。単なる説明会に終始した。
本来のリスコミの目的からすると一般の人には入り込むのが難しいのではないかと。

【その他】

BSEでは販売者・外食のパネラーがいてもよかったと思う。
専門用語の解説集などを参考として付けて欲しい(一般向け)
スライドが小さい。演者が大幅に時間延長した。
こういう会には不向きな会場だと思う。スケジュールどおりに進めて欲しい。
時間配分。
手元の資料が見えにくかった
スライドが見にくいのと、照明が暗くプリントを読むのが大変でした。
パワーポイントのスクリーンをもう少し大きめにして下さい。リスココミュニケーションとしてもっと明確にアピールするようなことが大事ではないでしょうか。
外食関係や消費者団体など幅広いステークホルダーのパネラーとしての参加がのぞまれる。BSEについてはそれのみでリスコミを行ったほうが良かったと思われる。

Q6 その他、今回のリスココミュニケーションについて、お気づきの点がありましたら記入願います。

【消費者】

せっかくBSEの話だが、話題が時期的にずれていて残念。もう少し早い時期(H18年11月頃)に会があったら良かった。
科学的知識に基づく評価とリスコミの大切さを

消費者と消費者団体は分けて入れて欲しい。周囲の雑談、歓談、から消費者団体から来られた方が多く、私のような個人の消費者とは知見が違う(高い)し、認知のギャップを感じました。全体として私のためになりましたのでまた参加できたらと思います。

報告での発言は明確に聞き取れましたが、意見交換において時間の関係もあるのかみなさん早口であり、聞き取りが困難なことが多くあった。
説明する技術を磨いてください。ほとんどの参加者は眠っていました。演者の質の向上を望みます。

【製造・加工業】

全頭検査は日本の牛肉の「安心」を保証するシステムであり、BSEの発生が無くなるまで継続していただきたい。米国が全頭検査しないのであれば米国産牛肉はいらないと思います。

予め出席者に対してアンケートをとって答える方法をとってはどうか。

参加者の多さにびっくり。立派な会合だったが、予算(お金)もかかっているだろうと心配も。

BSEのUS現地調査の内容があまりにもお粗末であった。日本から行った調査団は調査リストを事前に作成していったとは思えない。記録がないのに現場で確認できたところがあるが、どうして記録なしで確認できるのか。本人かどうかわからないと思う。知識のある人間が対応したのであって、現場の人間ではないだろうと思う。

この1年間のポジティブリスト制度を施行しての良かった点、問題点などの討論会をしてもらいたい。

今後ともリスコミの実施をよろしく願います。

輸入食品の安全対策についてもう少し話を聞きたかった。2つの項目は分けて時間をとりじっくりと実施すべきであると思います。

リスココミュニケーションである以上リスクゼロがありえないことの議論を尽くし、そのうえで現実的なリスクコントロールについてのコミュニケーションをはかるべきと考えるが、実際にはリスクゼロとリスクコントロールが混同されている。日本の食はおおむね安全であるのに、安心ではないと多くの人にとらえられているすれちがいを解消していけるように断固たる姿勢での取組を是非国にお願いしたい。個々の民間企業ではマスコミに抗することは不可能である。(不二家さんはこれほど断罪されるようなことをしたのですか? 危害を加えましたか? 雪印とは違っていると思いますが)

地方での開催を検討願いたい

会場の広さ等も適切であったと思います。

【流通・販売業】

メキシコ、中国、チリ産の牛肉は食品安全委員会で評価すべきだ。メキシコ産などの牛肉は全箱検査はもちろん、原産地図表示もレストランでされていない。全箱検査は税金のむだ遣いである。世界の先進国でやっている国はない。

スライドが見えにくい。会場が寒い。

【行政関係】

高病原性インフルエンザについて、詳しい話がききたかった。

輸入食品だけでも農畜産物、加工食品と多様なので十分なボリュームである。BSE対策は切り離して開催したほうがよいのでは。

スライド上映中の報道関係者のカメラ撮影のストロボ光が不快であった。ストロボ光を止めていただくか、発光回数を減らすなど何らかの対応が必要だろうと感じた。

意見交換と言うより行政からの説明会のような印象を受けた。

【その他】

輸入とBSEは一部はオーバーラップするが基本的には別々の問題点かと思えます。別々に実施してもよかったのではないかと思います。

もう少し大きいスクリーンのある会場で行ってほしい。

大企業の食品衛生法違反は許し難いことではあります。雪印乳業や不二家は日本の食品メーカーの夢や製品の先駆けだったようです。国内の原乳を使ってチーズを作る北海道の酪農家を回っている姿は当時は当たり前と思いましたが。しかし国内の乳業生産や加工の大メーカーを失ってしまい、国民としてはとても大きな損失と冷静に思うようになりました。日本の昔からの企業を本当に目覚めさせ、大切な当社の製品は何かを思い起こさせ、製品の安全が国民の信頼というようなことを本当に学んで欲しい。外国から原乳や加工品を買えばよいとは思ってない今日です。

外国食品だけでなく、国産品の安全性についてもリスコミをもって欲しい。ポジティブリスト等の観点からも輸入品ばかりが危ないような印象を受けるが、それは事実なのか知りたいから。